

大杉だより

NO22 2月19日号

平川中 美・礼・時+A

志を支え、才を育む 愛があふれた学校を目指して

Mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp

URL : <https://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/hira-j>

☎ 924-7700

「優しい人は、配慮がある。」

「配慮」と一言と言っても、大きく分けると3種類あります。目配り・気配り・心配りです。接客業界でよく使われる言葉ですが、優しい人になるためにも欠かせないポイントです。それぞれ同じ意味に思えるかもしれませんが、厳密には異なります。その中の一つ「気配り」について、シリーズ累計15万部のベストセラー「気配りのキホン」に書かれていた内容をご紹介します。

「気遣い」とは相手の気持ちを少し想像すること

【「遣」という字に込められた意味】

気遣いや言葉遣いの「遣い」の漢字は、「使い」ではありません。「遣」という漢字は、「思いを伝える」「心をはたらかせる」という意味があるそうです。遣唐使の「遣」も、この漢字を書きますよね。きっと遣唐使は、モノや情報、文化だけでなく、思いも一緒に伝えていたのかもしれない。

一方で「使」という漢字は、「ティッシュペーパーを使う」「ペンを使う」など消費する物に対してよく使われます。この漢字の意味の違いからもわかるように、気遣いは「思い」がもとになっているものなのです。

CAは普段、出発の時、搭乗口のドアの外に出て、お客様にお出迎えの挨拶をします。

あるとき、いつもなら明るく笑顔を交え、ハキハキとした声で、「いらっしゃいませ。おはようございます。」というチーフパーサーが急に声を落とし、笑顔を消して静かに挨拶をしました。私は、不思議に思い、お客様をよく見ると、喪服を着た方が搭乗される時でした。

気遣いとは、“相手の気持ちを想像し、思いを伝えること”だと思います。

地域の方とともに考えた“本当の友達とは”

2月9日（火）地域の方18名にご参加いただき、2年生の道徳の授業を行いました。浜田廣介作の児童文学である「泣いた赤おに」を題材に、「本当の友達」について考えました。生徒は、地域の方との話し合いを通して、考えを深めていました、

生徒と地域の方の感想の一部をご紹介します。

【授業後の生徒の感想】

- ◇自分は友達と言えると思う。青鬼の一方的なことかもしれないけど、赤鬼は幸せになっているし、最後の手紙は、青鬼は赤鬼と友達を続けている感じだったから。何が友達で何が友達じゃないが難しかったけど、いろんな人の考えを聞いて自分の考えが深まった。
- ◇意見を聞いて、本当の友達とは言えないと思う。それを決定づけるのは最終的には二人が距離をおいたこと。表面的な部分では友達だけど、思い合う心や考えが浅かったと思う。だから、二人で話し合って考えを深め、お互いが嫌な思いをしない方法を考えればよいと思う。
- ◇自分と地域の方の意見が違ったから、「なぜそう思ったんですか」と聞いてみると、「そういう考えもあるんだな」と思えた。最初はどう話せばいいんだろうと思っていたけれど、普段通りの道徳の感じで地域の方の意見を聞いて、良い経験になったなと感じた。



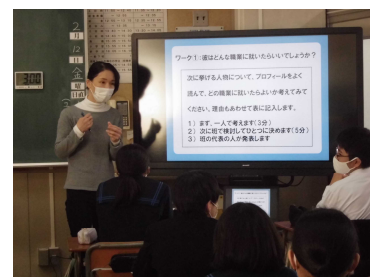
【参加された地域の方の感想】

- ◇地域参加型授業の取組は、とてもすばらしいと思う。中学生の感情や考え方を学ぶ機会となった。子どもの成長においても必要な取組だと思う。
- ◇自分と違う意見が聞けて楽しかった。授業の雰囲気も明るく活気があって元気をもらった。
- ◇少数意見を述べて、そこから議論が発展していけばよいと思ったが、広げる時間が足りなかったのが残念だった。中学生はとても立派な意見を持ち、頼もしく見えた。



キャリアカウンセリング

2月12日（金）、スクールカウンセラーの結城先生が、1年生を対象に「キャリアカウンセリング～将来から今を考えよう～」というテーマで授業しました。「キャリアカウンセリング」とは、個人にとって望ましい職業選択や生き方を支援するプロセスのことを指し、今回は自己理解と目標設定を中心に行いました。



はじめに、「のび太に合う職業を考える」ことからスタートし、自分自身の個性から自分の将来の目標について考えました。生徒は、目標の実現に向けて、今できることについて真剣に考えていました。

PTA 理事会開催

2月16日（火）PTA理事会を開催しました。

令和2年度の事業報告では、執行部、財務・施設部、文化部、保健体育部からは、今年度はコロナの影響により、多くの行事が中止となる中、主な活動の報告がありました。広報部からは、年3回の広報誌の発行に向けて、行事の撮影や記事の精選、編集作業について活動報告がなされました。生活部からは、年間を通じての見守り活動や各行事での活動が報告されました。続いて、PTA会計等の中間報告もあり、すべて異議なく審議が終わりました。



田村PTA会長より、PTA活動を通して学校を支えていただいたすべての皆様に対して感謝の言葉があり、閉会となりました。

人気の本がたくさん！！

平川中学校図書館には市立図書館で150人待ちの人気の本が何冊もあります。館内をグルッと巡るとそんな人気の本を簡単に見つけることができます。



先日、「東野圭吾の最新版ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」、直木賞にノミネート・本屋大賞2021にもノミネートされている「加藤シゲアキのオルタネート」など、話題の作品が入りました。写真で紹介している本は、市立図書館で100人以上の予約がかかっている本です。

生徒には、「まずは図書館へ足を運び、館内を散策してみましょ。興味を持てる1冊に出会えると思います。」と、投げかけています。